

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名 だれでもいきいき幸せに暮らせるまち

施策番号・名 14 高齢者福祉の推進

基本事業番号・名 14-03 ひとり暮らし高齢者の安全確保

| 事務事業番号 | 所管課係名 | | 事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図) | 対象指標 (対象の数値指標化) | | 活動指標 (手段の数値指標化) | | 成果指標 (意図したことの結果の数値指標化) | | 事業費 (実績額) | 人件費 (理論値) | トータル コスト | 改革・改善の余地 (目的妥当性・効率性・有効性・公平性から) | | 改革・改善の余地を踏まえた 平成23年度以降に向けた事務事業の方向性 (所管課長記入欄) | | | |
|----------|-------------------|----|--|--------------------|----------------|-------------------------|-------------|---------------------------|-------------|--------------|--------------|-------------|-----------------------------------|---------------|--|---------------|-------------|--|
| | 事務事業名 | 対象 | | 指標 | 実績値 (単位) | 指標 | 実績値 (単位) | 指標 | 実績値 (単位) | | | | ① (千円) | ② (千円) | | ①+② (千円) | 選択項目 | 説明(選択理由) |
| 14-03-01 | 福祉総務課 高齢者福祉係 | 対象 | 65歳以上のひとり暮らしまたは高齢者世帯(前年の所得税が4万2千円以下) | 平成21年度 | 平成21年度 | 65歳以上のひとり暮らし又は高齢者世帯数 | 平成21年度 | 平成21年度 | 平成21年度 | 平成21年度 | 平成21年度 | 平成21年度 | 選択項目 | 説明(選択理由) | | 選択項目 | 説明(選択理由) | |
| | 福祉電話事業 | 手段 | 自己所有者には月額1,750円までの回線使用料を、電話貸与者には回線使用料、配線使用料、シルバーホン使用料を必要に応じて助成する。 | 26,381 (人) | 257 (件) | | 平成20年度 | 平成20年度 | 平成20年度 | 平成20年度 | 平成20年度 | 平成20年度 | 平成20年度 | 22年度以降に向けた方向性 | 廃止(完了・統合含む) | 所管課長名: | 福祉総務課 小島信行 | |
| | | 意図 | 連絡手段を確保し、孤独感を解消する。 | 25,849 (人) | 271 (件) | | 平成19年度 | 平成19年度 | 平成19年度 | 平成19年度 | 平成19年度 | 平成19年度 | 平成19年度 | 改善の余地 | <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし | 23年度以降に向けた方向性 | 廃止(完了・統合含む) | 事業の役割の終了。 |
| | | | | 24,429 (人) | 282 (件) | | | | | | | | | | | | | |
| 14-03-02 | 福祉総務課 高齢者福祉係 | 対象 | 65歳以上で市内在住であること(所得に応じた費用負担あり)①一人暮らし高齢者で心臓疾患、高血圧等の慢性疾患があり日常生活に注意を要する世帯②2人構成の高齢者世帯で、いずれか他一方が寝たきりで、かつ、その介護者が病弱な世帯。 | 平成21年度 | 平成21年度 | 左記事項を満たした高齢者の数もしくは申請世帯数 | 平成21年度 | 平成21年度 | 平成21年度 | 平成21年度 | 平成21年度 | 平成21年度 | 選択項目 | 説明(選択理由) | | 選択項目 | 説明(選択理由) | |
| | 緊急通報システム事業 | 手段 | ・本人からの申請により機械を貸与して設置。(所得に応じて費用負担あり)緊急時にボタンを押すと消防署に連絡が入る仕組みで、消防署には本人の申請書データが登録されている。 ・協力員3人は市の負担で保険加入し、年度末に謝礼(図書券)を送付する。緊急時に該当者宅への連絡をし、また、留守宅の保全を行う。 | 57 (件) | 57 (台) | | 平成20年度 | 平成20年度 | 平成20年度 | 平成20年度 | 平成20年度 | 平成20年度 | 平成20年度 | 22年度以降に向けた方向性 | 現状維持 | 所管課長名: | 福祉総務課 小島信行 | |
| | | 意図 | 緊急性のある持病を持つ高齢者世帯の不安解消、緊急時の援助体制の確保。 | 70 (件) | 70 (台) | | 平成19年度 | 平成19年度 | 平成19年度 | 平成19年度 | 平成19年度 | 平成19年度 | 平成19年度 | 改善の余地 | <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし | 23年度以降に向けた方向性 | 現状維持 | 事業の役割現状維持。 |
| | | | | 76 (件) | 76 (台) | | | | | | | | | | | | | |
| 14-03-03 | 福祉総務課 高齢者福祉係 | 対象 | 65歳以上の市内居住単身高齢者(緊急通報システム受給者除く)。空身とは、住民票上の実質単身の者で、安否確認のほかに手段がないと思われる者(高齢者住宅入居者を除く)。 | 平成21年度 | 平成21年度 | 申請者数 | 平成21年度 | 平成21年度 | 平成21年度 | 平成21年度 | 平成21年度 | 平成21年度 | 選択項目 | 説明(選択理由) | | 選択項目 | 説明(選択理由) | |
| | 乳酸飲料配布事業 | 手段 | 乳酸飲料業者に委託して、週4日乳酸飲料を宅配し、手渡しする。配達翌日に連絡なく乳酸飲料が放置されている場合には、業者から市に連絡があり、市から受給者の緊急連絡先に確認することで安否確認を行う。 | 223 (人) | 33,804 (本) | | 平成20年度 | 平成20年度 | 平成20年度 | 平成20年度 | 平成20年度 | 平成20年度 | 平成20年度 | 22年度以降に向けた方向性 | 縮小 | 所管課長名: | 福祉総務課 小島信行 | |
| | | 意図 | 市において安否確認する手段を確保し、事故の早期発見に努めて、最終的に孤独死の防止を目指す。 | 187 (人) | 29,794 (本) | | 平成19年度 | 平成19年度 | 平成19年度 | 平成19年度 | 平成19年度 | 平成19年度 | 平成19年度 | 改善の余地 | <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし | 23年度以降に向けた方向性 | 現状維持 | 対象者の絞り込み。みまもりネットワークの活用。 |
| | | | | 173 (人) | 27,768 (本) | | | | | | | | | | | | | |
| 14-03-04 | 介護福祉課 地域ケア係 | 対象 | 65歳以上の一人暮らし高齢者・高齢者のみ世帯及び見守りを必要とする高齢者 | 平成21年度 | 平成21年度 | 65歳以上の高齢者数 | 平成21年度 | 平成21年度 | 平成21年度 | 平成21年度 | 平成21年度 | 平成21年度 | 選択項目 | 説明(選択理由) | | 選択項目 | 説明(選択理由) | |
| | 高齢者みまもりネットワーク構築事業 | 手段 | 一人暮らし高齢者等が住み慣れた地域で安心した生活を継続できるよう平成15年12月からみまもりネットワーク事業を実施 | 26,600 (人) | 11,271 (世帯) | | 平成20年度 | 平成20年度 | 平成20年度 | 平成20年度 | 平成20年度 | 平成20年度 | 平成20年度 | 22年度以降に向けた方向性 | 現状維持 | 所管課長名: | 介護福祉課 内野寛香 | |
| | | 意図 | 一人暮らし高齢者等が住み慣れた地域で安心した生活を継続できるよう見守りを行った。 | 25,862 (人) | 10,672 (世帯) | | 平成19年度 | 平成19年度 | 平成19年度 | 平成19年度 | 平成19年度 | 平成19年度 | 平成19年度 | 改善の余地 | <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし | 23年度以降に向けた方向性 | 現状維持 | 対象者の増加により、今後においても地域包括支援センターとの連携を密にする必要がある。 |
| | | | | 24,750 (人) | | | | | | | | | | | | | | |